

そよ風

第7号

今治市立立花中学校

2学期にはたくさんの行事が予定されています。文化祭や修学旅行、中でも先月の秋季大運動会は、熱中症や天候の心配などもありましたが、みなさんのがんばりですばらしいものとなりました。事前の練習では、クラスの中で意見が合わなかったり、熱中するあまり周りを傷つける言動があったりしたこともあるかもしれません。しかし、それらの経験を通してみなさんは成長していきます。残りの行事も、友人と切磋琢磨しながら、学校全体で成長してほしいと思います。



〈ハラスメントについて考えよう！〉

最近「〇〇ハラスメント」という言葉をよく耳にします。セクハラやマタハラだけでなく、モラハラやアカハラなど、30種類以上のハラスメントがあるといわれています。インターネットで検索すると、ハラスメントとは、相手に対して行われる嫌がらせのことだと載っていました。たとえ、本人にそのつもりがなくても、相手を傷つけたり、苦痛を与えたり、不利益をこうむったりする行為はハラスメントに当たるそうです。

この考え方からいうと、中学生にとっての「いじめ」も、ハラスメントと同じではないでしょうか。国の法律では、「いじめ」を以下のように定義されています。

「いじめ」とは、「児童生徒に対して、当該児童生徒が在籍する学校に在籍している等当該児童生徒と一定の人的関係のある他の児童生徒が行う心理的又は物理的な影響を与える行為（インターネットを通じて行われるものも含む。）であって、当該行為の対象となった児童生徒が心身の苦痛を感じているもの。」とする。

いじめ防止対策推進法 第二条（いじめの定義）

社会全体で問題になっているこの「ハラスメント」も「いじめ」も、根幹は『相手のことを大切にしない』から起こるのではないのでしょうか？さらに最近の会社では、ハラスメントという言葉が濫用して、上司などを困らせる部下が増えてきているそうです。上司などの発言に対して、「それ〇〇ハラスメントですよ。」という人が増えているそうです。もちろん「ハラスメント」や「いじめ」は絶対に許されるものではありません。それによって困っている人のためにも声をあげることも大切なことだと思います。しかし、そういう指摘によって、上司が部下に何も言えなくなっている状況もあるようです。これは、ハラスメントを利用してハラスメントをするので、「ハラハラ」と呼ばれているそうです。世の中、いろいろと難しく、どこかおかしなことになってきているようですが、一度原点に戻ってみるとよいのではないのでしょうか。とにかく『周りの人を大切にする』ということが抜けていないのでしょうか。

冒頭の話に戻りますが、先月の秋季大運動会は本当にすばらしかったと思います。生徒の皆さんだけでなく、支えてくれた保護者や地域の皆様のおかげでこそその成功だったと思います。その根幹には、やはりみなさん中学生を『大切に思う』という心があったからではないのでしょうか。長い人生、おもしろいことも、嫌なことも、理不尽なことも、いろいろなことが起こると思いますが、『相手を大切にする』という人として当たり前の気持ちを常に持ち続けたいものです。